

令和5年12月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和5年12月5日（火）10時
- 2 場 所 別館3階 特別会議室
- 3 出席者 教育長 蔵元洋一
教育委員 河本直子 衛藤修身 八木秀和 太田かおり
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 教育部長 北原鉄也
教育部参事 森 秀輔
学校教育課長 船元幸徳
教育施設課長 清水秀一
生涯学習課長 亀井 誠
学校教育課課長補佐兼保健給食係長 野中康伸
学校指導課課長補佐 権藤信慶
学校教育課教育総務係長 秦 薫
- 6 傍聴人 2人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定例教育委員会議事日程

令和5年12月5日（火）10時00分

1 報告事項

- (1) 令和5年12月学校教育行事及び社会教育施設行事について
- (2) 2学期制について
- (3) スマートフォンの使用について
- (4) インフルエンザによる学校の状況について
- (5) 部活動の地域移行について

2 協議事項

- (1) 令和6年1月定例教育委員会の日程について

[開会時刻：10時00分]

蔵元教育長 おはようございます。それでは定刻となりましたので、令和5年12月定例教育委員会を開催いたします。
最初に令和5年12月学校教育行事及び社会教育施設行事についてそれぞれ説明をお願いします。

森教育部参事 12月学校教育行事についてご説明します。
共通行事についてです。22日小中学校2学期の終業式となります。
給食終了は、小学校が20日、中学校が21日となっています。
26日は県庁において、福岡県とびうめ教育表彰式が行われます。これは、9月に募集された福岡県の教育論文の表彰式になります。教育論文では、市内小中学校の先生方15名が応募され、西小の教頭の論文が福岡県の優秀賞に選ばれました。この表彰式において、阪本教頭がこの論文をもとにした実践発表を行います。
27日、28日は閉庁日となっております。
次に、各学校の行事です。
まず、各小学校で中間市学力調査が行われます。これは、本市の学力向上の取組の一つで、小学校全学年を対象に行い、各学年の学力の状況を客観的に把握し、授業改善のための資料として活用していきます。また、4年生を対象にしたチャレンジテストが行われます。これは、福岡県教育委員会によるテストで、5年生での福岡県学力調査に向けて4年生の段階での課題を把握し、学力向上の取組に活かしていくものです。
それから、各小学校において期末の個人懇談と、各中学校では三者面談が実施されます。
続いて学校ごとに説明します。
底小では、2日に土曜授業としてマラソン大会が行われました。
東小では、1日に世界遺産キッズアカデミーが実施されました。福岡県の事業を産業振興課で受け、令和3年度から毎年実施されています。県内の大牟田市、北九州市と一緒にオンラインでつないでお互いに世界遺産について調べたものを発表し合うものでございます。
中間中では、2日に土曜授業でPTAと連携した校内清掃及び花植えの活動が行われました。
北中では、4日及び6日にSOSの出し方教室が行われます。それから、8日には夢ネット活動として、しめ縄づくりが行われます。北中の1年生がしめ縄づくりを学び、北小2年生に作り方を教えるというものです。
以上が主な12月の行事です。

蔵元教育長 それでは、ご意見ご質問等はございますでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員 共通行事の12日「地域とともにある学校づくり」充実のための研修会についてです。内容と参加者について教えてください。

次に、同じく26日の福岡県とびうめ教育表彰式についてです。先生方が頑張っていることは、よく理解できました。応募者が中間市で15名と説明されましたが、北九州教育事務所管内では、平均的なのか、また多いのか、少ないのかを教えてください。

次に、各小学校のチャレンジテストについてです。いつから、実施されているのか教えてください。

次に、東小のキッズアカデミーについてです。去年は南小も実施したと思いますが、他校の状況を教えてください。

次に、中間小の個人懇談会についてです。13日、14日、15日に教育相談と個人懇談が同日であります。同日に実施することで、時間の配分が困難になるのではないのでしょうか。教えてください。

森教育部参事 1点目「地域とともにある学校づくり」充実のための研修会についてです。学校運営協議会制度いわゆるコミュニティスクールに加入している市町の教育委員会または学校の管理職に対する研修会でございます。コミュニティスクール推進委員からの講義や協議を通して理解を深めるものでございます。

2点目、福岡県とびうめ教育表彰式の教育論文の応募の状況についてです。数年前から市教委としては教員の力量向上のために教育論文の推奨をしてきております。応募状況は9市町ある中で比較をすれば割合としては多い方だと感じております。

先生方が大変良くがんばっており、学校管理職が若年教員、中堅教員の育成のために支援して頂いております。

3点目、チャレンジテストについてです。5、6年前から実施されています。

4点目、東小のキッズアカデミーについてです。令和3年度に南小で取り組まれていました。昨年度は北小、今年度は東小に移ってきております。

5点目、中間小の個人懇談と教育相談の重複の件についてです。個人懇談は放課後に日程を組んで行うものです。教育相談は授業時間の一部を使って学級担任が子どもと1対1でヒアリングを行います。時間的な重

複はございません。そのため、この日程で作成されています。
以上です。

衛藤教育委員 東小のキッズアカデミーの取組については、非常に素晴らしいことだと思います。世界遺産ではありませんが、堀川は中間市の歴史的な遺産で、過去に中間小が、このような取組を実施しています。
このような取組をされる学校は、希望なのか、順番なのか教えてください。

森教育部参事 この実施校の選定にあたっては、学校の校長会で協議されております。今後は、地理的なことを考慮し、東小で取り組んでいくことになりました。
校長会では、例えば防災の取組を中間小で継続して取り組む等、それぞれの学校の特性を活かした取組を続けていこうということが話し合われています。

衛藤教育委員 わかりました。なぜそのようなことをお尋ねするかといいますと、世界遺産のある場所をよく通るのですが、ほとんど誰もいないという状況で寂しく感じます。もっと子どもたちの声が聞こえるような世界遺産にできないものかと考えたときに、一つの学校に特定するのではなく、例えば中間市内に住んでいても「世界遺産どこにあるの」という子どももいると思います。各学校で実施することによって、一度は現場に行くと思いますから、子どもたちに教育を通して世界遺産を知らせることができると思います。素晴らしい世界遺産がありますので、子どもに残していけたらいいと思いますし、世界遺産を広げていってほしいと思います。

蔵元教育長 ありがとうございます。その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。河本教育委員。

河本教育委員 共通行事の20日の食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会についてです。現在、中間市の子どもたちの中にエピペンを携帯しなければいけない子どもがどの程度いるのかと、そのことについて学ばれるのかということをお教えてください。

森教育部参事 現在、エピペンを常時携帯している子どもが、市内の学校に在籍しています。その学校におきましては、栄養教諭や養護教諭が中心になってエピペンの使用についての研修を校内で実施しております。

また、20日の食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会につきましては、福岡県が実施するものであり、医療関係者からの講話や、実際にエピペンのモデルを使った処方演習が行われます。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。八木教育委員。

八木教育委員 私から3点、質問と報告とお願いがあります。

まず、底小で行われる居住地校交流(4年)の内容を教えてください。

次に、子どもたちに対する安全指導についてです。22日終業式が終われば冬休みに入り夏休み以降の長期休暇になります。今年の夏休みに宮若市で大きな水難事故がっておりますし、12月は交通事故が増えてしまうので、子どもたちに対する安全指導について、注意喚起を行っていただきたいというお願いです。

3点目、各小学校で個人懇談会が行われる予定になっています。先日PTAの会長会での話ですが、小学校では全学期にあったあゆみの所見が1、2学期に関してはなくなり、書かないということが話題になりました。その分、個人懇談会で話す内容等を増やすようにしますという書面が各学校にでました。これに関しては保護者の中で賛否両論あるのが現状でして、やはり書いてほしいという方もいますし、先生方の多忙な業務も考えたらやむを得ないのではないかという方も半々のようにおられる感じですが、中にはなくなるということについてアンケートをとっても良いのではないかという話にもなったのですが、最終的にはアンケートは出さないという形になりました。PTAの役員さんは先生たちとふれあう機会が多いので比較的先生たちがどれだけ忙しいのかわかっているのも、理解される方が多いとは思いますが。個人懇談会の日数を増やしてもらっている学校もありますし、ほとんどの方が共働きなので案として出たのが、例えば、オンラインを活用すれば、限られますが職場からできるのではないかという意見もありましたので、今後この形が続くのであれば、校長会等で話していただければという話がありました。

森教育部参事 ご意見ご質問ありがとうございます。

1点目の居住地校交流についてです。中間市在住で特別支援学校に通っている子どもさんが地域の学校に通っている子どもたちと交流する機会

を設けるということで行われているものです。底小校区では4年生の子どもさんが直方特別支援学校に通っており、そのお子さんが底小の4年生のクラスに入って1日生活を共にするもので、年間3回程度行われています。これは、他の学校でも実施されており、ご家庭や子どもさんの希望によって行われます。

次に、冬休みに向けた安全指導についてです。八木教育委員がおっしゃられたように、近隣でも大きな事故が起こっていますので、冬休みの生活指導については、県通知文をしっかりと精査し、特に重点的に指導すべき内容については校長会議でも取り上げて共有し、各学校で足並みをそろえた指導ができるようにしたいと思っております。ご意見ありがとうございます。

それから、個人懇談と小学校のあゆみの所見についてです。教職員の働き方改革という視点からご理解いただける意見を頂きましたが、一方ではやはり書いてほしいというご意見があるのも承知しております。PTAを通じまして、ご意見を頂きながらより良い取組にしていきたいと考えておりますので、頂いたご意見も私から各学校長に伝えておきたいと思っております。ありがとうございます。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。太田教育委員。

太田教育委員 私から質問1点と、八木教育委員のご意見に重ねてのものです。まず1点目ですが、5日から8日の共通行事で授業構想力・評価力を高める授業実践講座Ⅰ、Ⅱとあります。この講座を受講される先生方の対象はどのような年齢層の方になっているのか教えてください。

それから、先程八木教育委員があゆみの所見について言及されましたけれども、中間市で2学期制についてはどこかでご検討の余地があるのかということですが、北九州市でもいくつかの学校で2学期制を導入されているところがあります。実際にここで働かされている先生方とお話をすることがあるのですが、働き方改革の視点とは違って、子どもたちの学力向上にとって良いかという視点が非常に大事だと思います。そこは慎重にと思えますけれども働いている先生といたしましては、比較的余裕があって子どもたちと接する時間もあって、おそらくあゆみの所見の時間等も取れるのではないかと思います。今お話を聞きながら感じました。全国的にうまくいっている事例ですとか課題点もあると思いますので、

そういったものを検討して中間市にこの2学期制の導入が適切なのかという検討をどこかでしても良いのではないかと思います。教育課程は違いますが大学等は2学期制で動いているところが多くございまして機能しておりますので、中間期末のテストの負担等を考えると効果的に学力をはかりながら2学期制の導入も良いのかと今感じました。以上でございます。

森教育部参事 ご意見ありがとうございます。

1点目の授業構想力・評価力を高める授業実践講座の対象ですが、国・数・社・理・英の各教科の中学校教員が1名ずつになっております。参加している教員は中堅クラスで、30代40代くらいの教員が受講しております。

2学期制の検討については、時々話題には出るのですが、今おっしゃられたような効果や課題があるなど、いろいろな情報は聞くのですが、具体的に2学期制について検討したということは今のところございません。今後様々な側面から考えていきたいと思っております。ありがとうございます。

衛藤教育委員 2学期制については、教育委員会の中でも意見交換した方が良いのではないかと思います。

蔵元教育長 ありがとうございます。内容が現状であったり課題の分析であったり1回や2回の会議で解決するようなことではございませんので長い時間ゆっくりかけて検討し、目的につきましては、先程太田教育委員が言われていたとおり学力向上、授業改善であったり、そういった教職員の働き方等々非常に大きな意義、意味を持つと考えておりますので、会議に向けての資料作成の着手をお願いします。

その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。河本教育委員。

河本教育委員 子どもたちがスマートフォンを使用する際に、スマホ首や目の焦点が合わなくなることもあるとネットにとりあげられていました。スマホ首は、小さい頃の姿勢が原因というのがほとんどらしく、大人になってからなることはあまりないということでした。

そして、一度スマホ首になるとほぼ治らないということでしたので、スマートフォンを使用する際の姿勢や使用時間について、先生方から指導していただき、保護者の方にもお知らせしていただきたいと思っております。

蔵元教育長 ありがとうございます。その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。
ないようですので、続きまして社会教育施設行事についてお願いします。

亀井生涯学習 12月の社会教育施設行事の主なものをご説明いたします。
課長 中央公民館事業です。7日木曜日10時から、なかまハーモニーホール
におきまして「きらめき大学」と「りふればーく」の合同講座を開催い
たします。内容はピアニスト水上裕子さんのピアノ演奏とスペシャルト
ークとなっております。
次に、9日土曜日ハピネスなかま研修室におきまして、クリスマスリー
ス教室を開催します。樹木や木の実などの自然素材を活用し、クリスマ
スリースを作成する講座となっております。10時から成人の部を10
名程度、13時からと15時30分からの2回に分け親子の部を30組
60人程度の定員にて開催いたします。
次に13日水曜日13時30分から保健センターにおきまして、「世界
そげなこと講座」4回目を開催いたします。内容は韓国の食べ物や歌な
どの文化について紹介される予定でございます。
次に、16日土曜日10時30分からハピネスなかまにおきまして、ジ
ュニア科学教室「超簡単！ロボットプログラミング&AI体験」を開催
します。九州工業大学工学研究員の准教授とその学生4人を講師に迎
え、小学4年生から中学3年生までの親子18組36名程度を対象と
し、プログラミング人工知能で小型ロボットを動かす体験ができる講座
となっております。
次に体育文化センターです。体育文化センターにおきましては定例の
「いきいき健康教室」や「ニュースポーツ教室」などを開催の予定で
す。
次に図書館です。15日金曜日から28日木曜日までの間「年末無制限
貸出」を実施します。貸出冊数を無制限とし、約3週間の貸出日数とい
たします。16日土曜日11時から、「クリスマスおはなし会」が行な
われます。ホットブックなかまの皆さんによるクリスマスにちなんだお
はなし会となっております。15人程度の定員を予定しております。
次にハーモニーホールです。17日日曜日14時から大ホールにおきま
してハーモニー主催の「ピアニスト古賀千恵さん&65歳からの合唱講座
受講生によるWinterConcert」が開催されます。入場料は一般500円、
会員450円となっております。
最後に、新年1月7日日曜日なかまハーモニーホールにおきまして「令

和6年中間市二十歳を祝う式典」を開催いたします。受付は11時45分から式典開始を12時としております。

社会教育施設の主な行事予定は以上でございます。

蔵元教育長 今回の説明につきまして、ご意見ご質問等はございますでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員 9日のクリスマスリース教室についてです。材料費を参加者が負担すると思いますが、親子ともに必要なか教えてください。

次に、9日と16日の教室について、両日ともハピネスなかまで開催です。生涯学習センターが工事中なので公共の駐車場が不足するのではないのでしょうか。その場合は、どのように対応されるのか教えてください。

亀井生涯学習課長 はじめに、クリスマスリース教室です。材料費は無料となっております。2点目、9日と16日開催の駐車場につきましては、土曜日ですが18台ほどの駐車は可能となっております。また、生涯学習センターの駐車場は開いており、工事車両と一般車両を分けて駐車できるようにしておりますので、駐車可能となっております。以上でございます。

蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。衛藤教育委員。

衛藤教育委員 テレビ等で子どものインフルエンザの罹患状況が大変増えているという報道があつてます。中間市も同じような状況だと思っておりますので、中間市内の学校の状況と、その場合の授業の進め方について教えてください。

森教育部参事 インフルエンザの状況についてです。先週南小で2学級がインフルエンザによる学級閉鎖を行いました。昨日までで、かなり多くの学校で罹患者が増えておりまして、小学校5校で8学級が学級閉鎖を行っております。また、中学校2校で2学年が学年閉鎖を行っております。

欠席が多かった場合の学習進度についてですが、もちろん通常どおりに学習を進めるのは難しいので、これまでの復習の時間にあてるなどすることが多くなります。また、家庭学習用のプリントを用意したり、オンラインで学習内容を提供したりするなど、学年や学級の実態に応じて取り組まれます。いずれにしても多くの子どもたちが来ていないままに進める形はとれません。

- 蔵元教育長 その他ご意見ご質問等はございますでしょうか。衛藤教育委員。
- 衛藤教育委員 前回の教育委員会の時に、部活動地域移行推進委員会について話がありました。このことが、そろそろ具体的に動き出すのではないかと思いますので、今後のスケジュールがはっきりわかっていたら教えてください。
- 権藤学校指導
課長補佐 中間市運動部活動地域クラブ活動推進委員会についてご説明します。
以前も申し上げましたが、9月に推進委員会を立ち上げて地域移行に関する確認等を行いました。現在は、来年度における実証事業参加の有無や教職員の兼職兼業希望の有無を調査しているところです。今月の21日にその結果を共有するための第2回推進協議会を予定しています。また、来年の2月と3月に次年度の対応や小中学校の保護者への周知に向けての推進協議会を実施予定です。以上です。
- 蔵元教育長 その他でご意見ご質問等はございますでしょうか。ないようですので続きまして、令和6年1月定例教育委員会の日程について説明をお願いいたします。
- 船元学校教育
課長 令和6年1月の定例教育委員会の日程につきまして、1月9日火曜日午前10時から第1委員会室で開催したいと考えております。
- 蔵元教育長 令和6年1月につきましては、1月9日火曜日午前10時からとなっておりますが、日程について皆様方がいかがでしょうか。
- 教育委員 <<承認>>
- 蔵元教育長 ありがとうございます。それでは、その他でご意見ご質問等はございますでしょうか。それではないようですので、これをもちまして令和5年12月の定例教育委員会を終了します。ありがとうございました。

[閉会時刻：10時44分]

令和 6 年 2 月 6 日

教育委員 八木 秀和

教育委員 衛 藤 修身